

【ポイント】

内政

- 11日、ラカジェ・ポウ大統領及びヴィエイラ・ブラジル外務大臣臨席の下、ウルグアイとブラジルで共同運営されるリベラ国際空港の開港式が行われた。
- 21日、アルバロ・デルガド大統領府長官の辞任を受けて、ロドリゴ・フェレス大統領府副長官が新大統領府長官に任命された。

外交

- 7日、ラカジェ・ポウ大統領がメルコスール首脳会合に出席。
- 10日、ラカジェ・ポウ大統領が、訪問中のアルゼンチンにてゼレンスキー・ウクライナ大統領と会合を実施。
- 19日、ウルグアイ外務省は、北朝鮮の弾道ミサイル発射を非難する声明を発出。

経済

- 2023年第3四半期(7~9月)のGDPは、第2四半期(4~6月)と比較して1%成長、対前年比では▲0.2%となった。

【本文】

1 内政

(1)リベラ国際空港の開港式

11日、当国北部のブラジルと国境を接するリベラ市において、ラカジェ・ポウ大統領、パガニーニ外務大臣、ヴィエイラ・ブラジル外務大臣、コスタ・ブラジル空港港湾大臣等出席の下、ウルグアイとブラジルで共同運営されるリベラ国際空港の開港式が行われた。同空港は、二国間で共同運営される南米初の国際空港となる。

(2)支持政党に関する世論調査結果

20日、世論調査会社 EQUIPOS CONSULTORES 社は、「もし選挙が本日举行されるならばどの政党に投票するか」との質問に関する世論調査の結果を発表したところ(期間:11月16日~11月29日、サンプル数:1,204、対象:全国の18歳以上の男女、誤差:±2.8%)、野党FA(拡大戦線)が45%、連立与党全体が38%(国民党29%、コロラド党7%、カビルド・アビエルト党2%)であった。前回の調査(10月)と比較すると、野党FAが5ポイント支持率を伸ばした。

(3)大統領府長官及び副長官の交代

21日、ラカジェ・ポウ大統領は、大統領選出馬に向けた選挙活動に従事するために辞任したアルバロ・デルガド大統領府長官の後任として、ロドリゴ・フェレス大統領府副長官を新大統領府長官に、マリアナ・カブレラ女史を新大統領府副長官に任命した。

2 外交

(1)ラカジェ・ポウ大統領のメルコスール首脳会合出席

7日、ラカジェ・ポウ大統領はリオデジャネイロで開催されたメルコスール首脳会合に出席し、11月の中

国訪問について報告すると共に、中国とのFTA締結の可能性について、「ウルグアイは中国とのFTA締結を望んでおり、それがメルコスール全体であれば更に望ましいが、まずウルグアイが先行し、それに他のメルコスール各国が追随することでも何ら問題はない。」と述べた。

(2) ラカジェ・ポウ大統領とゼレンスキー・ウクライナ大統領の会合

10日、アルゼンチン大統領就任式に出席するため同国を訪問中のラカジェ・ポウ大統領は、同じく同国を訪問したゼレンスキー・ウクライナ大統領と会合を行った。外交筋によると、ゼレンスキー大統領はラカジェ・ポウ大統領に対し、これまでのウルグアイによるウクライナに対する支持に感謝の意を表するとともに、ロシアによる侵略について説明を行った。これに対し、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイ政府は常に国際法と正義を支持し続けると述べた。

(3) ラカジェ・ポウ大統領とハチャトゥリャン・アルメニア大統領の会談

14日、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイ訪問中のハチャトゥリャン・アルメニア大統領と会談を行った。両首脳は、両国の外交関係樹立31年間における、二国間アジェンダのテーマ、地域及びマルチの主要関心事項について話し合うとともに、最近の両国大使館の開設は両国国民の伝統的な友好関係において重要な出来事であると強調した。

(4) 北朝鮮の弾道ミサイル発射非難声明の発出

19日、外務省は、2023年12月17日及び18日に北朝鮮が、24時間以内に2発の弾道ミサイルを発射したこと、そのうちの一つは長距離射程のミサイル(ICBM)であったことを強く非難すると共に、ウルグアイは、国際の平和と安全を脅かし、国連安保理決議に違反し、国際法の明白な侵害であるこの種の行為を拒否する旨の声明を発出した。

(5) グロッシIAEA事務局長の当国訪問

19日、ラファエル・グロッシ国際原子力機関(IAEA)事務局長がウルグアイを訪問し、アルヒモン大統領代行(注:ラカジェ・ポウ大統領が南極訪問中のため)及びデルガド大統領府長官等と会合を行った。双方は、Rays of Hope 事業(注:IAEAが推進する、放射線治療の途上国への普及を企図する事業)の枠組みで、マンモグラフィ5台と加速器1台をウルグアイの公立病院に供与する旨合意した。この機材供与により、ウルグアイのがん治療の進展が期待される。

3 経済

(1) 中央銀行によるGDP成長率発表

14日、中央銀行は、2023年第3四半期(7~9月)のGDPは、第2四半期(4~6月)と比較して1%成長した旨、他方で対前年比では▲0.2%であった旨発表した。特に好調なのは農業・漁業・鉱業の分野で、9.6%の成長を示しており、主に畜産業と林業が牽引している。

(2) 観光分野の国際収支

当地シンクタンクCERES(Centro de Estudios de la Realidad Economica y Social)が観光省、移民局、航空局、中央銀行等からのデータを元に分析した数値によれば、今年1月から9月までの国内における観光関連収入は11億3800万ドル、他方、ウルグアイ人が海外で消費した総額は15億1200万ドルとなり、大幅な赤字となった。上記期間中、ウルグアイには270万人の外国人が来訪したが、過半数の152万人余をアルゼンチン人が占め、51万人余のブラジル人、8万人余の米国人がこれに続いた。この数

字は2017年と比較し18%減、他方で2019年と比較した場合9.4%増加している。CERESは、アルゼンチンの経済不安により同国からの来訪者数は減少したが、逆にブラジル、パラグアイ、チリ等からの来訪者数は増加したと分析している。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・5日～7日：ラカジェ・ポウ大統領、パガニーニ外務大臣、アルベレチェ経済財務大臣のブラジル訪問（メルコスール首脳会合）
- ・5日：ブビエル環境大臣のアラブ首長国連邦訪問（COP28）
- ・9日～10日：ラカジェ・ポウ大統領のアルゼンチン訪問（ミレイ・アルゼンチン新大統領の就任式）
- ・18日～20日：ラカジェ・ポウ大統領及びガルシア国防大臣の南極アルティガス基地訪問

(2) 来訪

- ・19日：ラファエル・グロッシIAEA事務局長の当地訪問（アルヒモン大統領代行及びデルガド大統領府長官等との会合）